

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 こども食堂サポート機能設置事業 採択事業

事業名	こども食堂サポート機能設置事業・こどもの居場所サポートおおさか	
団体名	一般社団法人にしなりプレーパークプロジェクト	
所在地	大阪府大阪市	
代表者名	代表理事	横田 弘美
事業の概要	<p>こども食堂サポートセンターを設置し、各こども食堂が安定して継続することができ、様々な場でもそのような活動が増え、発展するように支援する。また、参加するこどもたちの自己肯定感が向上し、食生活等に対する主体的な力を身に付けることができるような働きかけも行う。</p> <p>大阪市内の行政区単位のネットワークづくりやその活発化への働きかけや、社会福祉協議会等と補完的に連携をとり、企業等とのマッチングもを行い、研修会やネットワーク会議、フェスタ等を開催していく。サポートセンター自体の自立も目指しながら、各こども食堂と相乗効果的に育ちあい、こどもを中心とした取り組みを通じて地域の活性化を図る。</p>	
事業期間	3年	
助成額	助成金	17,750,000
	評価関連経費	931,200
	<b>合計</b>	<b>18,681,200</b>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊び場運営、訪問による相談支援、実行委員会形式による催事開催の実績がある。</li> <li>・24区で多様に展開されている取り組みを、市域で情報を共有しながら応援者の獲得を促す事業であり、民間だからこそその柔軟さを発揮できると考えられる。</li> <li>・想いの強さが伝わってくる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	ふくしまこども食堂組織基盤整備 ～こども食堂ネットワークを整備し、持続的展開を拡充させる事業～	
団体名	特定非営利活動法人寺子屋方丈舎	
所在地	福島県会津若松市	
代表者名	理事長	江川 和弥
事業の概要	<p>福島県内に立ち上がった「ふくしまこども食堂ネットワーク」（任意団体：現在加盟団体 21 団体、申請団体の寺子屋方丈舎はこの任意団体の事務局を務めている。寺子屋方丈舎理事長江川和弥は「ふくしま子ども食堂ネットワーク」の代表でもある）の活動を福島県内のこども食堂の中間支援団体として、組織基盤を確立することによって、県内にこども食堂を普及させる。同時に各団体の財政基盤、人材育成、地域ごとの行政等との連携を支援することでこども食堂の持続可能性を高めてゆく。本事業を通じて 3 年後には現在のこども食堂の 4 5 箇所を 9 0 箇所まで増やしてゆく。</p>	
事業期間	3 年	
助成額	助成金	17,080,000
	評価関連経費	900,000
	<b>合計</b>	<b>17,980,000</b>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内 21 団体が正会員として加入している他、寄付集めや団体への助成、スキルアップ研修など、中間支援の活動実績がある。</li> <li>・基金やメディアを巻き込んだ、新たな資金調達の手法に着眼している点。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	こども食堂等支援事業	
団体名	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	
所在地	沖縄県那覇市	
代表者名	会長	新本 博司
事業の概要	<p>那覇市内で増加傾向にある子どもの居場所を支援し、居場所の持続的な運営の実現に向けて取り組む。子ども支援を考えている企業や団体を掘り起こし、居場所とマッチングし、支援拡充を目指す。居場所や企業、関係者で組織する「支援連携会議（仮称）」を立ち上げて、居場所が抱える課題を整理、共有し、解決に向けて取り組んでいく。主な取り組みは居場所に対する研修や役立つ情報の発信、地域や企業に対する情報発信と支援拡大に向けた働きかけ、企業と居場所をつなぐネットワークづくりと、ネットワークによる居場所が抱える課題の整理や解決に向けた取り組み（食材などの受け入れ体制や配達網の整備、調達コストの削減、協賛金など）を進めていく。</p>	
事業期間	3年	
助成額	助成金	17,750,000
	評価関連経費	932,000
	<b>合計</b>	<b>18,682,000</b>
講評	<p>那覇市社会福祉協議会は既にこども食堂支援に取り組み体制も整っており、本事業を通じて子どもの居場所が継続的に運営できるように企業や地域からの支援のマッチングを進めると共に、子どもの食育を進めることで子どもの育成に必要なプログラムを進めることを期待される。また、中間支援のノウハウを蓄積する中で、他市町村に対しても支援のノウハウを伝播することの実現性が期待される。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	子ども食堂ネットワーク北九州機能強化事業	
団体名	一般社団法人コミュニティシンクタンク北九州	
所在地	福岡県北九州市	
代表者名	代表理事	浜野 一俊
事業の概要	<p>子ども食堂や多世代が参加する地域食堂の普及促進と運営サポートならびに人材育成などを軸に、子ども食堂の関係者や子ども食堂を支援者が無理なく活動が出来るよう、サポート体制の構築を図る。また、課題の分析や解決に向けた計画づくり、改善事例の紹介や市内外への情報発信などを行っていく。あわせて、共食の機会を提供する居場所活動は、食育において重要な役割を果たすとともに、多世代で活動することで高齢者の「生きがい・やりがい」の醸成、若い世代の育児サポート、孤食の解消、地域における児童健全育成活動の推進に繋がることが期待できるため、産学官民が連携した「オール北九州」で実施できるよう環境づくりを行っていく。</p>	
事業期間	3年	
助成額	助成金	17,750,000
	評価関連経費	939,000
	<b>合計</b>	<b>18,689,000</b>
講評	<p>前身は、2017年8月に「こども食堂ネットワーク北九州（事務局 北九州市子ども家庭局子育て支援課子ども食堂担当）」で、市が中心となってこども食堂支援にとり組んできた実績がある。この度の事業を通じて、中間支援機能が発展されることが期待される。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております